

「地域の活力の維持・向上を図るための地域まちづくり制度検討会議」について

1 会議の趣旨

京都市では、平成 10 年に都心部におけるまちづくり支援の基本方針である「職住共存地区整備ガイドプラン」を策定し、その後、地域協働型地区計画の活用等、様々な地域まちづくりに取り組んできました。

現在、既成の制度や枠組にとどまらず、実効性のある地域支援と自分ごとのまちづくりの一層の促進を目指して、今後のまちづくり支援手法の在り方について検討を行うため、「地域の活力の維持・向上を図るための地域まちづくり制度検討会議」を開催しています。

2 委員名簿

氏名	所属等	備考
大島祥子	一級建築士事務所スーク創生事務所 代表	
嘉名光市	大阪市立大学大学院教授	
高田光雄	京都美術工芸大学教授，京都大学名誉教授	座長
西嶋淳	大阪商業大学大学院教授	

※事務局：都市計画局まち再生・創造推進室

(五十音順，敬称略)

3 これまでの経緯

時期	内容
平成 30 年 8 月 10 日	【第 1 回検討会議】 ・地域まちづくりの課題と検討に当たっての視点
10 月 2 日	【第 2 回検討会議】 ・支援スキーム（素案）について
12 月 5 日	【第 3 回検討会議】 ・支援スキーム（案）について ・シンポジウム及び地域ディスカッションの開催について
平成 31 年 2 月 3 日	【地域まちづくりシンポジウム】
2 月 13 日～2 月 22 日	【地域ディスカッションの実施】
3 月 5 日	【第 4 回検討会議】 ・支援スキームについて

地域の活力の維持・向上を図るための地域まちづくり制度検討の背景と概要

- 都心再生まちづくりプラン(職住共存地区整備ガイドプラン)から20年が経過
- 町家の減少, 空き家問題, 民泊問題など時代の変化と新たな課題の発生
- NPOや事業者など, 新たな主体によるまちづくりの取組事例が増加

これからの時代の京都に相応しいまちづくりの在り方とその支援策を検討

(平成30年8月から 3回の検討会議を開催)

進めている支援策の3つの柱

○ 地域のビジョンに沿った開発を誘導するには, 規制調整型のまちづくりだけでは不十分

○ 京都の強みである自治組織を中心としたまちづくりに加え, 多様な主体の参画が必要

○ 地域課題の解決に資する継続的な活動を支援する仕組みが必要

誘導型ビジョンの作成

- ◆ 誘導型ビジョン・ルールの策定支援
- ◆ 行政窓口での情報発信・公表

多様な主体とのマッチング

- ◆ 事業者と地域の連携スキームの構築支援
- ◆ 事業者等のマッチングの積極的支援
- ◆ 幅広い支援者や投資家の参画を促すスキームの検討
- ◆ 大学や公的機関との地域まちづくりに関する連携の促進

地域資源の活用促進

- ◆ 公有地の利活用と特例適用の推進
- ◆ 新たな財源確保策の検討
- ◆ 地域資源の活用のためのビジネスモデルの構築支援

市民意見の聴取

シンポジウム

取りまとめ

地域ディスカッション

(支援策(案)について地域・事業者等と意見交換)

支援の仕組みの構築・施策への反映

京都

これからの
まちづくり

**参加費
無料**

2月3日(日)

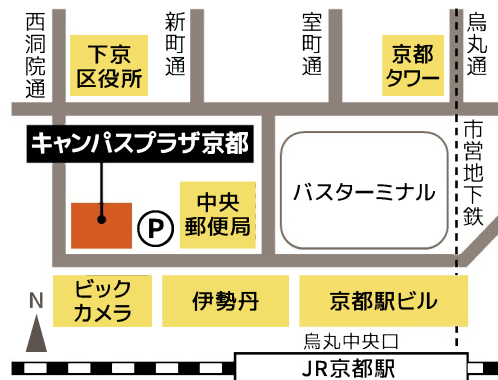
14:00～16:15 開場 13:30

キャンパスプラザ京都 4階第2講義室

京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939

京都市営地下鉄烏丸線,近鉄京都線,JR各線「京都駅」下車。徒歩5分。

※御来場の際は、可能な限り公共交通機関でお越しください。



2030年に向けて
世界が合意した

京都市はSDGsを支援しています。

11 住み続けられる
まちづくりを

京都では、長きにわたって住民主体の地域まちづくりが進められてきました。更に近年、新たな担い手が参画する取組が広がるなど、地域まちづくりにも変化が訪れています。

当シンポジウムでは、先進的なまちづくりを実践する方々に取組を御紹介いただき、京都のまちづくりのこれからを考えます。

京都がつむぐ まちづくり これからの

地域まちづくりシンポジウム

申込方法

※事前申込みが必要です。

申込期間：平成30年12月19日(水)～平成31年1月25日(金)

定員：150名 ※定員になり次第
受付を終了します。

参加費：無 料

申込先

京都いつでもコール

氏名(ふりがな)、電話番号をお知らせください
※お掛け間違いのないよう御注意ください

TEL：075-661-3755

(年中無休 8:00～21:00)

FAX：075-661-5855

(下記の申込用紙を御利用ください)

Eメール：左記QRコードのホームページの
送信フォームを御利用ください



FAX
申込用紙

ふりがな

氏 名

電話番号

趣旨説明：高田 光雄 氏

京都美術工芸大学教授／京都大学名誉教授

テーマ1 新たなまちづくりの担い手 ～京都の強み‘地域力’にプラスの風を吹き込む～

モデレーター：大島 祥子 氏

一級建築士事務所スーク創生事務所代表

パネリスト

北林 功 氏

COS KYOTO株式会社代表取締役

「文化ビジネスで世界を楽しむ」をコンセプトに、地場産業関係者の人材育成や、国内外への販路開拓・経営サポートなど、地域の自律・循環・継続する仕組み構築の支援に取り組んでいる。

榊田 隆之 氏

京都信用金庫理事長／仁和寺門前まちづくり協議会理事長

コミュニティ・バンクとして、金融サービスを通じた新たな社会的紐帯、人々の絆を育むため、「地域の起業家大賞」などに取り組み、豊かな地域社会を目指した展開を進めている。

谷口 知弘 氏

福知山公立大学教授

デザインやまちづくり等の研究・実践活動等に携わり、デザインのプロセスにユーザーが関わる、協働型のデザインプロセスの開発・実践に取り組んでいる。

藤崎 壮滋 氏

ぴあぴあコミュニティサポート合同会社代表社員

2012年に「伏見寺田屋浜Piers' n' Peers」をオープンして以降、まちと人を育てるソーシャルビジネスを実践している。

テーマ2 活力を生み出すまちづくり ～事業者とのコラボによって持続可能なまちを創る～

モデレーター：嘉名 光市 氏

大阪市立大学大学院教授

パネリスト

菅谷 幸弘 氏

六原自治連合会事務局長／六原まちづくり委員会委員長

六原学区の地域まちづくりにおいて、空き家対策や防災まちづくり等の地域全体で解決すべき課題に、地域や専門家と連携して積極的に活動に取り組んでいる。

西嶋 淳 氏

大阪商業大学大学院教授

地域社会の持続的な発展に向けて、公共経済学を基盤に理論と実践の融合を図りつつ土地利用、不動産事業などに注目して研究を行っている。

塗矢 眞介 氏

株式会社クラウドリアルティ取締役・最高執行責任者

不動産に特化した投資型クラウドファンディング事業を運営し、地域に根付いた事業者の支援や資金調達を行う場の提供に取り組んでいる。

吉田 光一 氏

株式会社フラットエージェンシー取締役会長

「愚直なまでのまじめな仕事」をモットーに創業から44年、平成9年には、不動産業からまちづくり業へ脱皮、地域にある課題を解決する事業を展開している。

お問合せ先：京都市都市計画局まち再生・創造推進室

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488

TEL.075-222-3503 FAX.075-222-3478



この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ!

